

# 第1節 平成27年和歌山県産業連関表の概要

## 1 解説

平成27年和歌山県産業連関表は、平成27年1月から12月の1年間に県内において行われた様々な産業間の取引を一つの表にまとめたもので、県内における財・サービスの流れの全貌を把握することができます。下に掲載している3部門生産者価格評価表は、各産業を3部門に統合し全体像を分かりやすく示したものです。

表をタテ方向に見ると、財・サービスの県内生産額と、各産業がその生産物を作るために、どの産業の生産物をどれだけ購入（投入）したか、また労働費用や営業余剰などの費用構成がどうなっているのかを示しています。一方、表をヨコ方向に見ると、各産業の生産物及び移輸入品が各産業あるいは最終需要部門にどれだけ販売（産出）されたかという販路構成を示しています。このことから、産業連関表は「投入産出表」（Input-Output Tables、略してI-O表）とも呼ばれています。

利用方法としては、表をそのまま読み取るだけで県内の産業構造や産業相互間の依存関係など、県内経済の構造を把握・分析することができます。また、表から得られる各種係数表を使用することにより、経済の将来予測や経済施策の波及効果測定等、多様な分析を行うことが可能となります。

なお、本書中の図表や解説につきましては、場合によって事務用品と分類不明を除いておりますので御了承願います。

平成27年 和歌山県産業連関表（3部門）生産者価格表

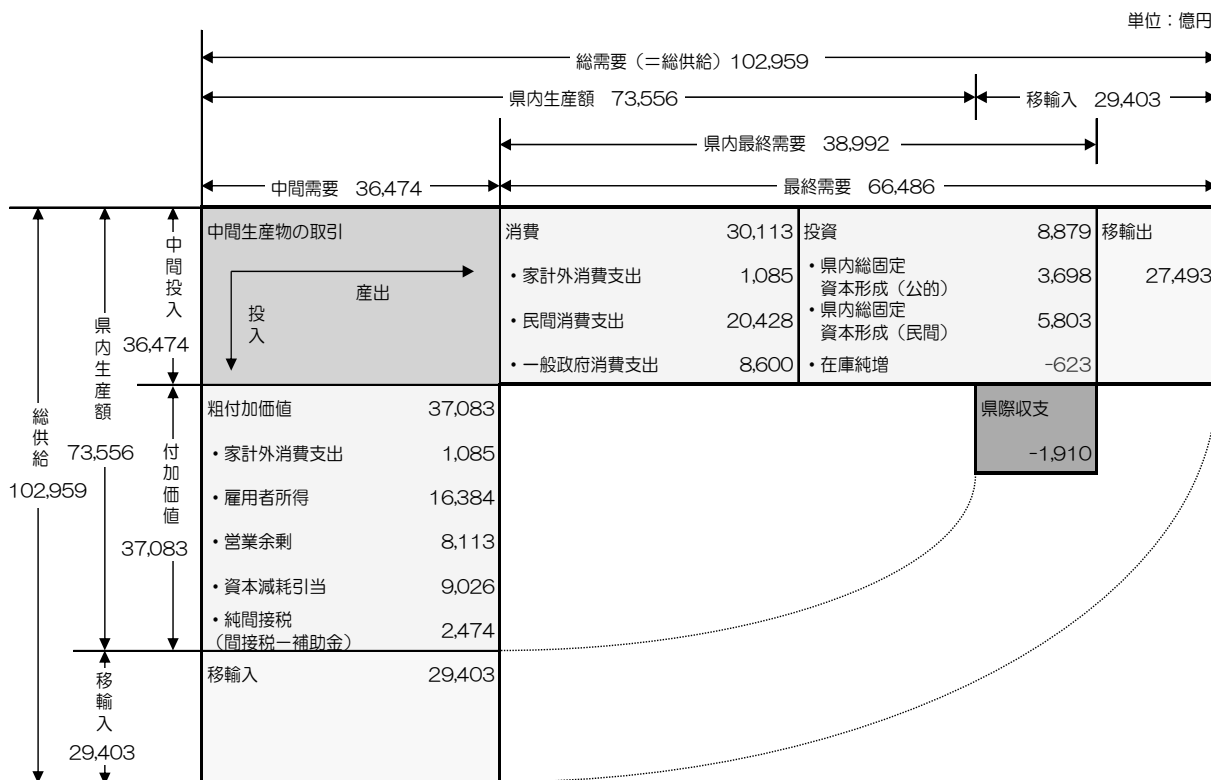
(百万円)

需要部門 供給部門	需要									(総供給)		
	中間需要				最終需要				(総需要) 需要合計	[控除] 移輸入	県内生産額	
	第1次産業	第2次産業	第3次産業	中間需要計	消費	投資	移輸出	最終需要計				
中間投入												
第1次産業	10,518	40,790	9,543	60,851	25,577	5,018	104,718	135,313	196,164	-53,219	142,945	
第2次産業	26,037	1,719,443	408,889	2,154,369	426,436	668,121	2,186,382	3,280,939	5,435,308	-1,964,415	3,470,893	
第3次産業	22,345	455,790	954,027	1,432,162	2,559,301	214,766	458,231	3,232,298	4,664,460	-922,656	3,741,804	
中間投入計	58,900	2,216,023	1,372,459	3,647,382	3,011,314	887,905	2,749,331	6,648,550	10,295,932	-2,940,290	7,355,642	
粗付加価値												
雇用者所得	17,326	466,176	1,154,908	1,638,410								
営業余剰	36,423	297,934	476,902	811,259								
資本減耗引当	24,345	300,133	578,147	902,625								
その他	5,951	190,627	159,388	355,966								
粗付加価値計	84,045	1,254,870	2,369,345	3,708,260								
県内生産額	142,945	3,470,893	3,741,804	7,355,642								

## 2 県経済の規模と構造

下の図は、平成27年の本県における経済の規模と循環構造を単純に図式化したものになります。

平成27年（2015年） 和歌山県経済の規模と循環構造



(注)四捨五入の関係で、内訳は必ずしも一致しません。

この図を供給面である縦方向（列）に見ると、平成27年の和歌山県で生産された財・サービスの総額である県内生産額は7兆3,556億円となっており、これに県外からの供給となる移輸入額の2兆9,403億円を加えた10兆2,959億円が総供給額になっています。また、県内生産額のうち、生産活動に必要な原材料や燃料等である中間投入額が3兆6,474億円投入されており、付加価値となる労働や資本等からなる、粗付加価値額3兆7,083億円が生み出されていることが分かります。

次に、需要面である横方向（行）に見ると、県内生産額に移輸入を加えた財・サービス10兆2,959億円が供給（総供給）され、そのうちの7兆5,466億円が県内需要として県内で使用されており、2兆7,493億円が県外に移輸出されています。また、県内需要のうち3兆6,474億円が生産のための原材料等として消費されており（中間需要）、残りの3兆8,992億円が家計消費や投資等となる県内最終需要額に回っていることが分かります。